



プロボノプロジェクト活動報告

仕事で得たスキルや経験を活かしたボランティア＝プロボノ

家庭、職場のほかに第三の居場所を求める人たちの場として、スキルアップや視野を広げる場として、自分のスタイルで社会に貢献できるプロボノ。プロボノにチャレンジする人たちがチームになって、3カ月の期間限定プロジェクトとして、地域の団体の支援を行いました。支援対象は、千葉県内で高齢者を支える活動を行う団体の運営基盤にかかわる困りごと。広報やファンドレイジング、組織マネジメントなど3カ月で実現可能な支援範囲に限って行いました。この活動報告により、プロボノの成果と、そのおもしろさや楽しさ、そこから得られる充実感を感じ取っていただき、今後の活動につなげていただければと願って作成しました。

「ちばプロボノチャレンジ 2019」実施概要

募集期間	2019.7.26~9.6 （支援対象団体募集）
	2019.8.19~10.15 （プロボノワーカー募集）
説明会開催	2019.9.13(船橋市) , 9.23 (千葉市)
実施期間	2019.10.27~2020.1.31
参加者	支援対象団体 県内 5 団体
	プロボノワーカー 16 名 (ボランティア参加者)
	説明会参加者 25 名
	活動報告会 (講演会同時開催) 参加予定者 100 名 (新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止)
主催	千葉県 (令和元年度千葉県我がまちシニア応援プロジェクト事業)
協力	認定 NPO 法人 サービスグラント
企画・運営	認定 NPO 法人 ちば市民活動・市民事業サポートクラブ



「ちばプロボノチャレンジ 2019」

NPO 法人サポートセンター花千
(香取市) のケースで見てみる

プロボノって、どんなことをするの？プロジェクトの進行過程をたどってみましょう。

プロボノワーカー側

(仕事のスキルや経験を活かしボランティアする人)

プロボノワーカー説明会に参加



ボランティア
初参加の人も

様々な職種、年齢の人が参加。専門スキルだけでなく、一般的なビジネススキルも必要とされています。週3~5時間の作業を基本に、チームで支援を進める3ヶ月間のプロジェクト。

これまでの業務
経験等も登録

プロボノワーカーに登録

全体オリエンテーションに参加 2019.10.27



- ・プロボノは、「団体の活動成果を高めるために支援する」という視点が大切なことなどの基本姿勢、実施の際の留意点、進行ガイドについて説明を受ける。
- ・支援先団体とチームメンバーを発表。
(サポートセンター花千のチームメンバーは4人)
- ・チームメンバーでリーダー役、進め方などを相談。

チームリーダーが団体との連絡役。訪問日を調整。チームでまとめたヒアリング用の質問内容も事前送信。

SNS 上でやり取りをして事前準備。

キックオフミーティング (初めての団体訪問) 2019.11.24

プロボノワーカーは、団体の立場に立って、実情を反映しながら、成果の高い提案になるよう団体の希望と具体的な支援内容をすり合わせます。3ヶ月間の進捗管理も大切。



- ・ヒアリングシートに基づき現状や運営上の課題を詳しく聞く
 - ・団体の課題、目指すものを確認
 - ・具体的な支援内容のすり合わせ
- ① 効果的な広報のための分析
→ワークショップの実施
 - ② 団体紹介リーフレットの作成

支援先団体側

NPO 法人サポートセンター花千 (香取市)

エントリーシートを記入して応募



高齢者を支える活動を行う千葉県内を拠点とする公益団体が対象でした。支援内容は、運営基盤を強化する内容で、支援メニューのなかから選びます。

【サポートセンター花千の活動内容】

日常生活サポート・福祉有償運行のほか、地域住民の交流の場の提供やイベント開催を行っています。介護保険対象外のサービスやケースに、柔軟にきめ細かく対応し、自分らしい豊かな生活を地域で送れるよう活動しています。

事務局による事前ヒアリング

⇒支援内容と支援範囲の絞り込み

【団体の支援内容】

介護保険対象外のサービスが地域で浸透し、高齢者や障がい者の豊かな暮らしにつながってほしい。団体の活動内容や目的が正しく理解されるリーフレットの作成と効果的な配布方法の提案。



情報発信、資金調達、業務改善、事業戦略など選んだ支援メニューのなかから優先順位を決め、3ヶ月で可能な支援範囲を設定します。

ヒアリングの質問への回答を事前準備。

プロボノで WEB 広報の環境を快適に —プロボノチーム×支援先団体メンバー の共同作業がモチベーション UP につながった

NPO 法人 船橋ウォーキング・ ソサイエティ（船橋市）



【団体の活動内容】

合言葉は「ウォーキングであなただも HAPPY！私も HAPPY！心も若く！身体も若く！」。ウォーキングのイベントや講座の開催を通じて「健康な身体づくり」や「生きがいづくり」を行い、地域の人々の生活の質向上を支援している。

【団体の支援希望】

手順の分かるスタッフが少ないため、新鮮な情報発信ができていない。ICT の知識不足で空回りする時間と精神的負担を軽減しつつ、効果的で信頼性のある情報発信をしたい。

【プロボノ活動内容】

- ① ヒアリングで現状把握と課題を整理
 - ・情報発信の負荷が大きい
 - ・団体のウェブサイトが複数あり、更新作業が煩雑。
 - ・適正な情報発信により、団体の信頼度をアップさせたい
- ② 提案内容の整理
 - ・情報発信媒体の 1 本化
→ 複数媒体(ブログ/ 団体紹介 HP / Facebook) を新規ウェブサイトに一括
 - ・誰でも更新できるよう情報発信の体制見直し
- ③ 新規ウェブサイトの構成、作りこみ

WEB 広報の 環境を改善

【最終提案内容】

- ① 団体ウェブサイトの新規立ち上げ (Wordpress を使用)

<https://f.2-d.jp/fws2019/wp/>

- ・複数のサイト機能をまとめ、1 本化。
- ・スマホからでも手軽に更新可能に。

- ② 更新手順マニュアルの作成
誰でも更新できるように。

- ③ 「広報活動のポイント」
マニュアルの作成

誰でも適切な内容での投稿ができるように。



プロボノチーム×支援先団体メンバーの共同作業が生んだ変化

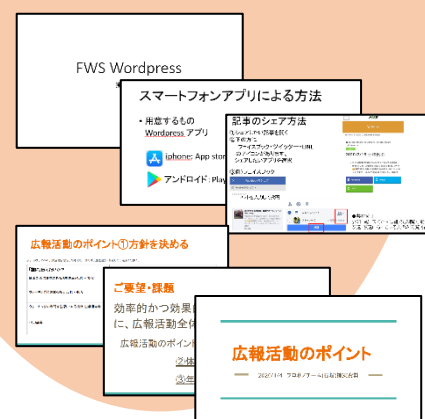
プロボノチームが担当したのは、旧サイトの移行作業や、新サイトのコンテンツ構成まででした。団体の魅力を十分に伝えるため、新サイトの掲載文面を団体メンバーで分担して一新。ウェブサイト立ち上げに加わったことで、団体スタッフの所属意識や活動のモチベーションに良い変化が生まれたと言えます。

プロボノワーカーの声

「自分の知識や経験は大したものではない」と思っていたのですが、団体の皆さんが喜ばれている姿を見て、プロボノに参加してよかったと思いました。一步踏み出したことで、自分のなかの「提供価値のある知識や経験」や「勉強不足な部分」を確認できました。（石塚さん）



- ・写真で分かりやすく
- ・ブログ機能で告知も容易に



プロボノを「プレワーク」と捉えることも

障がいのため、いくつか苦手なことがあることを心配していた S さん。自身が持つ ICT の豊富な知識・スキルを存分に発揮していました。就労に不安がある方が、周囲の理解を得て、専門性を活かしたプレワークとして、プロボノを選ぶということもできそうです。



支援先団体の声

今回の支援はウェブサイト制作にとどまらず、自団体の活動の捉え方まで踏み込みました。新スタッフが団体のことを理解する良いきっかけになったと思います。新しいウェブサイト経由でメディアから問い合わせがあるなど、早速、広報効果も現れました。

ワークショップ内容の検討、事前準備、今後の進め方などを打ち合わせ。

チームミーティング

ワークショップ準備

地域で連携したい関係者(ステークホルダー)に参加依頼をする。

ステークホルダー分析のための 「地域のつながりを考えるワークショップ」を開催 2019.12.20



- ・香取市高齢者福祉課、地域包括センター、社会福祉協議会も参加協力。スタッフも含め14名が参加。
 - ・サポートセンター花千を中心としたステークホルダーマップ作りを通して、連携の促進を考え、日常生活サポートを必要とする人に届ける仕組み構築のためのワークショップ。
- ⇒花千さんには、効果的な広報ルートの獲得にもつながる。

参加者の感想

- ・今まで情報共有できていなかったステークホルダーがあることに気づいた。
- ・地元企業と連携したいイベントを開催したい。
- ・他機関とのフラットな意見交換の重要性や面白さに気づいた。

リーフレット原案の提示と修正のためのヒアリング、次回ワークショップの打合せ。

団体とのミーティング 2020.1.13

ワークショップの元資料とするため、会員データを属性別に分類する方法を確認。

会員データ分析のためのワークショップを開催 2020.2.16

- ・会員データを、居住区域、年代性別ごとにまとめたものから、分析の仕方やペルソナづくりをワークショップ形式で、団体スタッフが参加して体験。
- ⇒今後の広報対象、広報の手法を考える手立てに。



参加者の感想

- ・ペルソナ分析により具体的なニーズはイメージできたが、どのようにアプローチするかが課題
- ・アプローチする地域のチャンネルを構築するために、ステークホルダーマップ等を活用していく。

リーフレット案の最終提案 2020.2.16

支援先団体の感想

プロボノを終えて



工夫点

- ・花千さんの雰囲気が出る優しい色合い、サポート内容がよりわかりやすいような構成に。
- ・初めての利用者向けに利用開始までの流れを新たに掲載。
- ・介護保険適用外サービスであることの伝え方。

プロジェクトへ参加できたことで、利用する方へのアプローチ力が強くなったと感じます。また、繋がる場所の認識もかわり、大きく活動を広げることができると考えます。当団体が、地域の中で活動し続けることで、制度の隙間に入って身動きできない方を笑顔にしていきたい。

プロボノを終えて、プロボノワーカーの感想

メンバーがそれぞれ得意な領域で力を発揮することができ、それがチーム全体の成果につながった。

大変だけど、おもしろい！

振り返るとあっという間でしたが濃い時間でした。



プロジェクトへの参加は貴重な経験でした。今後は、スタッフへも知識の落とし込み研修を行いたい。

自治会由来の会にプロボノで新しい風を

御成台三丁目

支え合いの会 虹 (千葉市)



【団体の活動内容】

自治会の有志が集い、地域での見守りやつながりづくりを進める活動を行う。集会所カフェ、体操、体力測定、講演会や各種イベントの開催のほか、生活支援（ごみ捨て、草取り、庭木の剪定）など。

【団体の支援希望】

住民に活動を知ってもらい、気軽に利用してもらえるよう、会への参加者、協力者の拡大にむけた広報物の作成。

支援先団体の声

こちらのできない、気がつかないことを提案され、参考になりました。受けた支援をどれだけ生かせるか、今後のこちらの活動にかかっていると思います。

事務局より

自治会のような近所同士の組織だからこそ、議論や変革には勇気が伴います。外部の人が行うプロボノ支援は、大きなきっかけを与えてくれます。合意形成には時間が必要なので、継続支援につながったことで、さらなる可能性に期待できると思います。

【プロボノ活動内容】

- ① 会の現状と困りごとのヒアリング、地域の交流の場「集会所カフェ」への参加
- ② 会の活性化に向けた現状と課題の分析。
- ③ 解決に向けたアイデアを提案（補助金の活用、住民アンケート実施やイベント拡充の提案）。
⇒再度、会員の要望とすり合わせ、作成物を決定。

【最終提案内容】

- ① 参加、協力を呼びかけやすい「集会所カフェ」のチラシ作成。
- ② 参加希望者向けスマートフォン対応のホームページをJimdoで作成（問い合わせページを新設）。
- ③ ホームページ更新マニュアルの作成。

集会所カフェ



広報物の作成

(チラシ、ホームページ)



「御成台三丁目自治会 支え合いの会 虹」の支援に携わって

—地域の課題から社会課題へ—

同地区の課題は、郊外型住宅地に共通しており、高齢化とともに将来の過疎化が迫っているところにあります。それは、行政等の社会コストの上昇に繋がり、地域の課題は社会課題に直結しているともいえます。そこで、同地域の強みを活かした課題解決の方法について考えてみました。

例えば、CCRC（リタイア後の充実した生活が可能なコミュニティ）としての新たな街づくりを通して、同地区の新たな価値創造、不動産価格の維持を図る。リタイア後の魅力的な生活圏として、都市中心部からの同地への移住。の流れができれば、人や不動産の流動化、過疎化の回避、

社会コストの縮小、高いサービスの受容も可能になります。

まずは、地域再生に関心のあるボランティアを募り、住民による協議会を設置することから始め、この閑静で美しい街並を活かして、シニアによる理想的なコミュニティの実現を目指すのはどうでしょうか。町の価値アップに向けた様々なアイデアを上手くまとめて、成功事例を積み上げていけば、課題解決の御成台モデルも可能ではないかと思えます。そのためにお手伝いできることがあれば、今後も応援します。

プロボノワーカー 本田耕三

プロボノで課題を整理

一般社団法人 セカンドライフファクトリー (柏市)



【団体の活動内容】

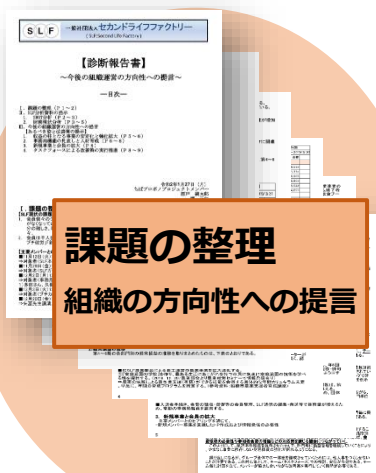
趣味・健康講座の開催によるシニアの市民ネットワーク構築や援農、就労支援などの社会参加をすすめる、シニアの健康と生きがいづくりに寄与する活動。

【団体の支援希望】

組織内の各活動と組織全体の活動方向性にギャップが生じており、今後の組織運営の方向性、新規事業の創出に対する提言を。

プロボノワーカーの声

4回のヒアリング等を通じて、現場の声（本音）を引出し、その想いに寄り添う提言をどう纏めるかが大変でした。



課題の整理 組織の方向性への提言

支援先団体の声

外部の眼での客観的評価が得られ、よかった。スタッフ間で、組織の方向性を議論するための格好の題材として、有効活用させていただきたい。



【プロボノ活動内容】

- ① 団体内の各組織の思いをヒアリング
- ② ヒアリング後のワーカーミーティング（ブレインストーミング）
- ③ 事務局会議を傍聴、主催講座を聴講
- ④ 応募可能な助成金をさがす。
- ⑤ メールで情報共有、議論し、チームリーダーが中心となり、まとめる。

【最終提案内容】

- ① ヒアリング内容から現状の課題抽出。
→ 5つの側面に分類・整理。
- ② 団体の強み、弱みなどを分析。
（SWOT分析・財務書類の分析）
- ③ 団体が目指すべき姿から、収益面、人材育成、新規事業、実施態勢などで、今後の組織運営の方向性への提言を行う。

NPO 法人 千葉西地域包括多職種の会 (千葉市)



【団体の活動内容】

「医療・介護等に携わる人々の顔がよく見える連携を築いて支援する」をモットーに介護保険事業、生活援助・終活支援、未病改善支援、専門知識のスキルアップと多職種の連携に関する活動。

【団体の支援希望】

利用者が増えている状況で様々な問題が生じており、効果的、効率的な事業運営の提言を。本来の活動目的に沿った運営にするための課題を整理すること。

プロボノワーカーの声

会社運営に携った人達が、経験を活かしながら団体の課題に真剣に向き合い、導き出した提案です。充実した時間を頂きました。



事業運営上の 課題の整理

支援先団体の声

同じ業界でない方からの聞き取りや意見などに答えることで、自分たちの活動を整理することができました。熱心に取り組んでいただき、よいものができました。



【プロボノ活動内容】

- ① 団体の現状をヒアリング。
- ② 主催セミナーへの参加、スタッフ会議の傍聴、介護業界の理解を深める。
- ③ 2回のチームミーティング。
- ④ 団体スタッフ全員参加のワークショップを開催。現状の事業面、運営面での課題と来期の計画などを共有。
- ⑤ メールで主に情報共有、議論、検討

【最終提案内容】

- ① 活動理念や現状の実施状況、事業運営上の課題を項目別に整理。今後の方向性の提案を含めて図解。
- ② 項目別にゴールイメージを実施の際のポイントと共に提案。
- ③ 3か年計画案を担当者別にまとめる。
- ④ 関連の統計データの提供。

実感！プロボノ活動

3カ月間の支援を終えたプロボノワーカーの
皆さんからのアンケート回答をのぞき見！

(回答者 15人)

「支援先の皆さんに非常に喜んでもらえ、
自分のスキルが社会に役立つ実感を得られて
うれしかった」
「身近でおきている社会問題を肌で知ることができた」
「支援先と丁寧に認識をすり合わせ、相互に
納得のいくアウトプットを出すことができた」
「活動を通して地域の小さな課題は、社会課題に
繋がっていると実感した」



社会貢献を実感！

「専門知識の高いメンバーが多く、
自分自身の勉強になった」
「メンバーそれぞれの得意分野の違
いを活かした、バランスの良い活
動ができた」
「各メンバーとも意欲的に参加し、
より良いものにしようとした」



チーム力で課題解決パワー
がアップ！自分への刺激も。

「これまでの経験が少しでも役立つのであれば、
また参加したい」
「プロボノを違うメンバーでもう少し体験して
みたい」
「経験やスキルが必要とされる数少ないボランティアの1
つがプロボノ。大した経験やスキルは持ち合わせていない
自分が、自分らしく振る舞うことができるプロボノに感謝」
「現役を退いている身なので 活かされる場があれば参加したい」
「おもしろいと思う！」



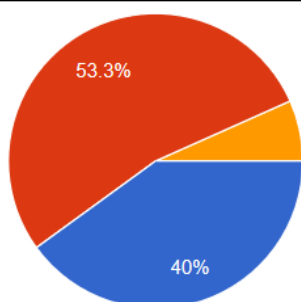
これからの
プロボノに期待

「自分の仕事では得られない、
直接人の役に立つことをまた
やりたいと感じた」
「ここで得た経験を本業で活かした
いという気持ちが大きいです」
「日頃知り得なかった世界に
接する事ができたのが大き
かった」



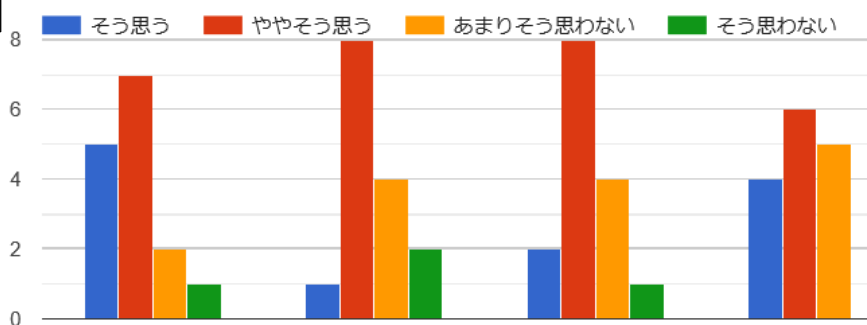
本業+ONEの生き方
(パラレルキャリア)

このプロジェクトに参加して、全体と
してどのように感じましたか？



● とても良かった ● 良くなかった
● 良かった ● 全く良くなかった

ご自身の考え方や生活にどのような変化や影響がありましたか？



自身の視野が広がり、人間的成長につながった

人脈やネットワークが広がった

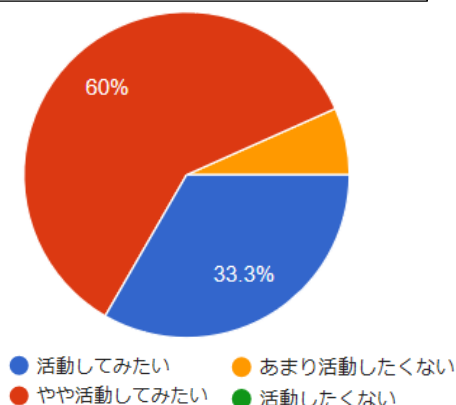
社会に対して役に立っているという実感がもてた

社会問題やNPO・地域団体に対する見方や考え方が変わった

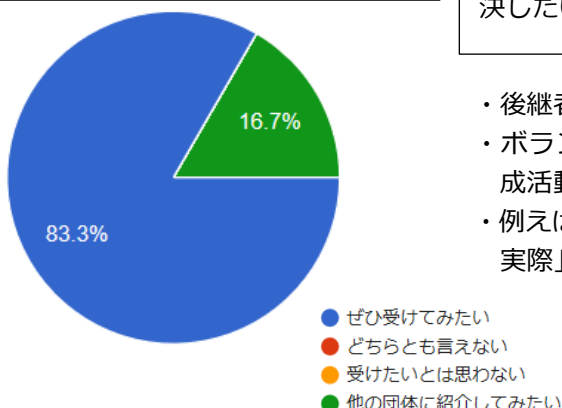
「プロボノ参加」のその後は？

(回答者 プロボノワーカー15名、支援先団体 5団体)

【プロボノワーカーへの質問 1】
今後も機会があれば、プロボノとして活動してみたいと思いますか？



【支援先団体への質問 1】
今後、プロボノによる支援をまた受けてみたいと感じますか？



【支援先団体への質問 2】
今回のプロジェクト以外に、プロボノを活用して解決したい課題は？

- ・後継者育成問題
- ・ボランティアの募集・育成活動
- ・例えば、「産官学民連携の実際」のようなテーマ

【プロボノワーカーへの質問 2】
今回、支援した団体の継続支援を希望しますか？

回答者 14 名中 7 名が、継続支援を希望。
そのほか 2 名は、団体側から要請があれば支援可と回答。

◆プロボノワーカーとして参加された方は、20 歳代～60 歳代までと年齢層も幅広く、業務経験も専門職から公務員や事務職と様々で、1/3 の方がボランティア初参加でした。支援先団体への成果が高いうえ、プロボノへの再チャレンジを望まれる方も多く、ボランティアへの定着率も高いと感じます。若い方々の参加も増え、新しい生活スタイルのひとつとして、千葉県で浸透していくことが期待されます。

プロボノに関心を持たれた方へのメッセージ

～冊子編集に協力してくれたプロボノワーカーの皆さんより～

- ◆仕事で得た知識や経験、専門性を活かして参加するプロボノ活動は、社会貢献活動の一つの選択肢だと感じました（原戸さん）
- ◆パラレルキャリアとしてプロボノに参加しました。チームで一つの課題に取り組めるのが、難しくもあり楽しかったです。（石塚さん）
- ◆過去の苦い経験を活かせることが出来、多彩な人達と出会って、刺激を受けつつ誰かの役に立てるのが嬉しいです。（水上さん）
- ◆注目されつつあるプロボノ!? □ 本業+プロボノで、パラレルキャリアによる相乗効果と社会貢献を肩肘張らずに実現。新しいキャリアの選択肢として参加してみてもは。（本田さん）



発行元：「ちばプロボノチャレンジ 2019」事務局

認定 NPO 法人 ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

〒261-0011 千葉県美浜区真砂 5 丁目 21-12 (NPOクラブ)

TEL 043-303-1688 FAX 043-303-1689 Email npo-club@par.odn.ne.jp

ホームページ <http://www.npoclub.com>

Facebook <https://www.facebook.com/NPOclub/>

Twitter <https://twitter.com/npoclub>

- 「ちばプロボノチャレンジ 2019」事業概要 URL <http://npoclub.com/static/pdf/probono2019.pdf>
- NPO クラブ プロボノ事業に関するブログ https://blog.canpan.info/npoclub1/category_24/1

発行部数 600 部 2020 年 3 月発行

※この冊子は、令和元年度 千葉県我がまちシニア応援プロジェクト事業の活動報告として発行しています。